



# 2007年度 決算説明会資料



株式会社 SJホールディングス

2008年5月20日

# 1. 決算概況

---



## ◎連結

売上高 25,883 百万円 (前年比 26.6 % ↓)

当期純利益 302 百万円 (前年比 77.6 % ↓)

## ◎単体

営業収益 1,973 百万円 (前年比 67.8 % ↑)

当期純利益 1,254 百万円 (前年比 219.0 % ↑)

※ 当社は、2005年4月1日付で純粋持株会社に移行しております。  
単体における主な収益源は、子会社からのロイヤルティ収入及び配当金となっております。

# ●2007年度実績（予想比／前年比）【連結】



単位:百万円

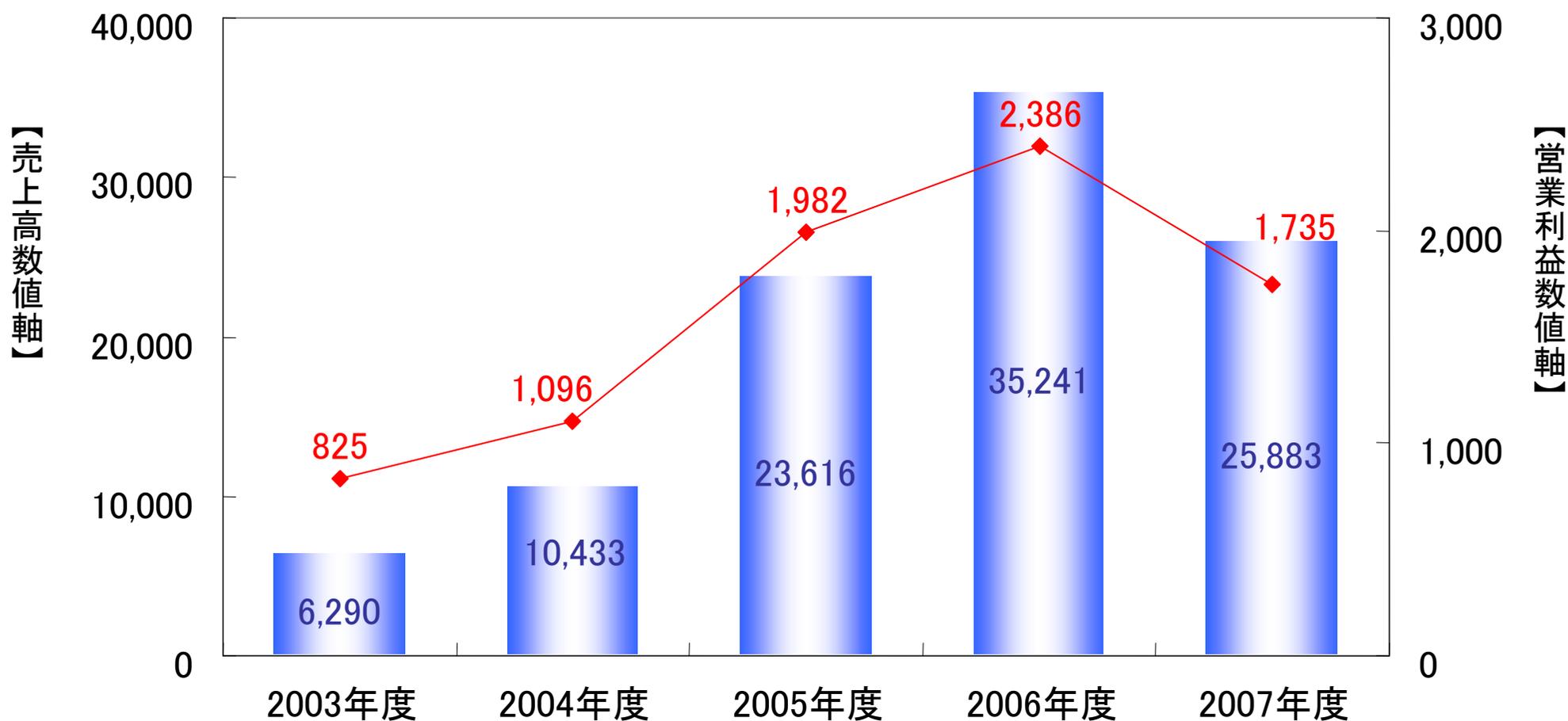
	2007年度		業績予想 達成率	前年比
	数値	構成比		
売上高	25,883	100.0%	88.2%	73.4%
営業利益	1,735	6.7%	58.1%	72.7%
経常利益	1,699	6.6%	59.2%	71.7%
当期純利益	302	1.2%	17.8%	22.4%

- ※ 単体の実績は、当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っているため、本章では記載を省略しております。
- ※ 業績予想達成率は、期初予想(2007年5月15日付決算短信にて発表した予想)に対する達成率を記載しています。
- ※ 2007年度の実績には、販売費及び一般管理費として「のれん」2億56百万円が含まれております。

# ●売上・営業利益推移【連結】



単位：百万円

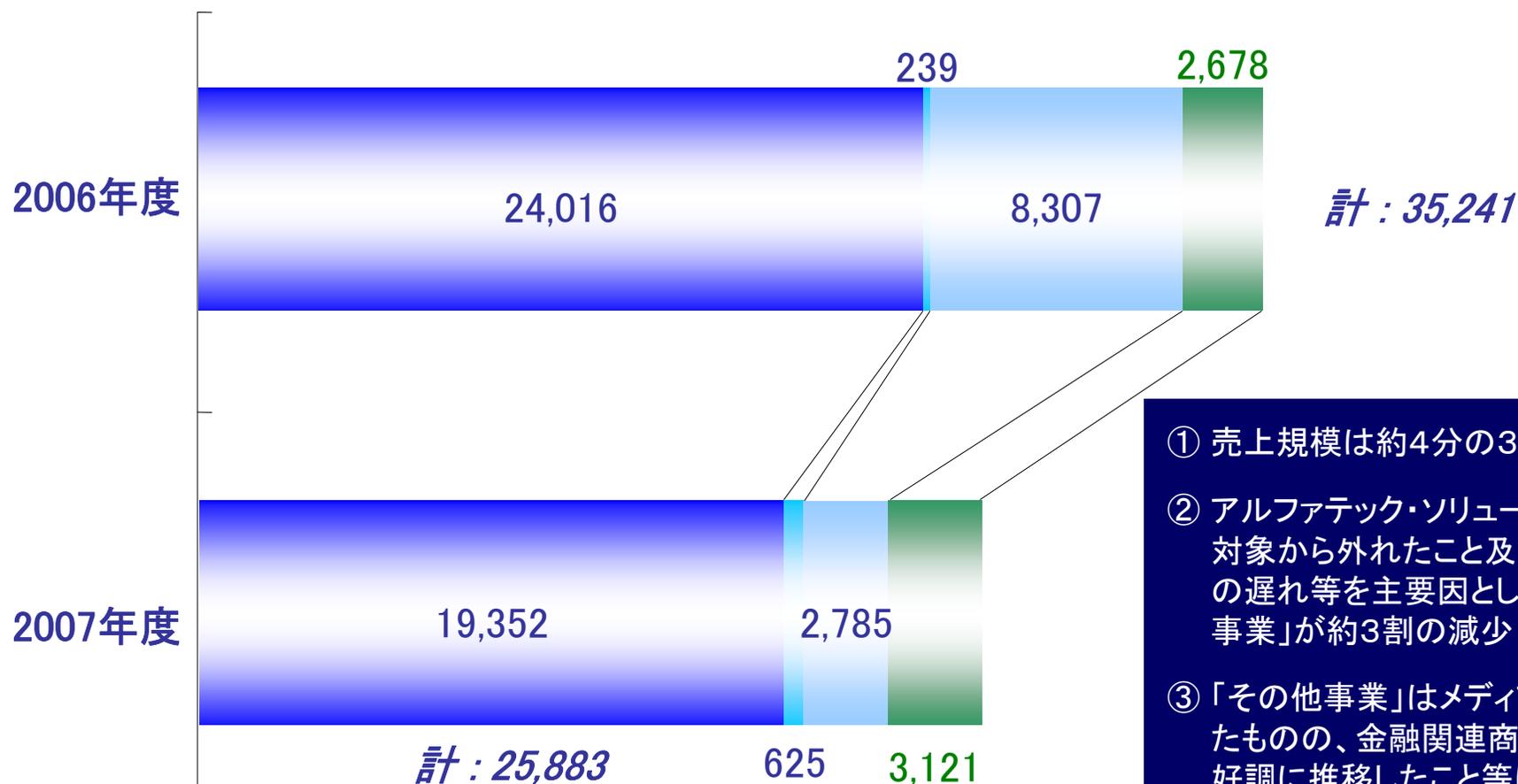


# ● 事業の種類別売上高推移 【連結】



情報サービス事業( ■ システム開発、 ■ ソフトウェア製品、 ■ 情報関連商品) ■ その他事業

単位:百万円



- ① 売上規模は約4分の3に留まる(前期比)
- ② アルファテック・ソリューションズ(株)が連結対象から外れたこと及び一括受託開発の遅れ等を主要因として「情報サービス事業」が約3割の減少(前期比)
- ③ 「その他事業」はメディア事業から撤退したものの、金融関連商品事業の売上が好調に推移したこと等により、約1.2倍に成長(前期比)

※ 2006年度の「その他事業」にはメディア事業が含まれております。

※ 2007年度の「その他事業」の主な製品・サービスの内訳は、「ATM」「POS電子支払機」「税収管理レジスター」等であります。

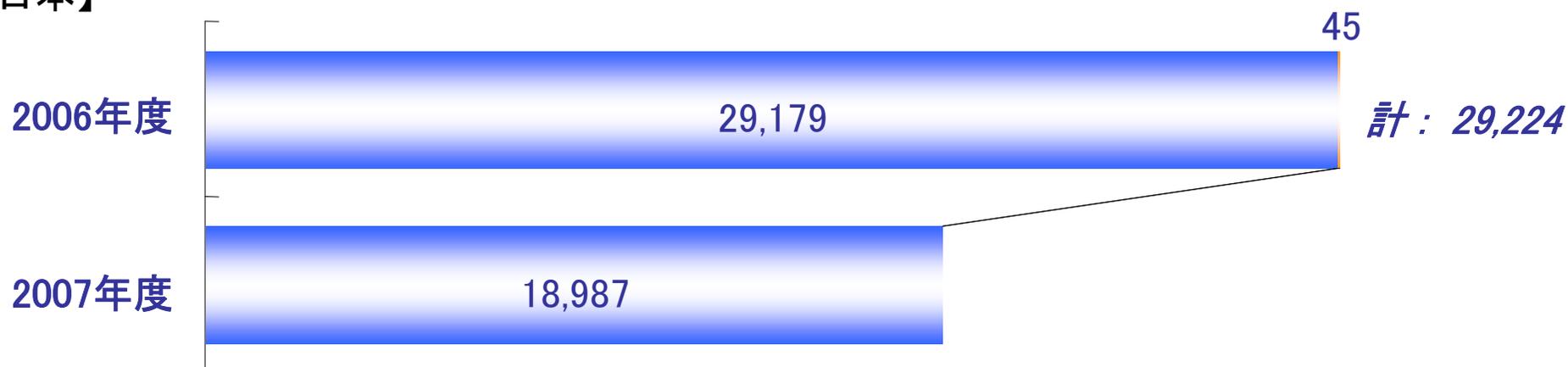


## ●所在地別売上高推移【連結】

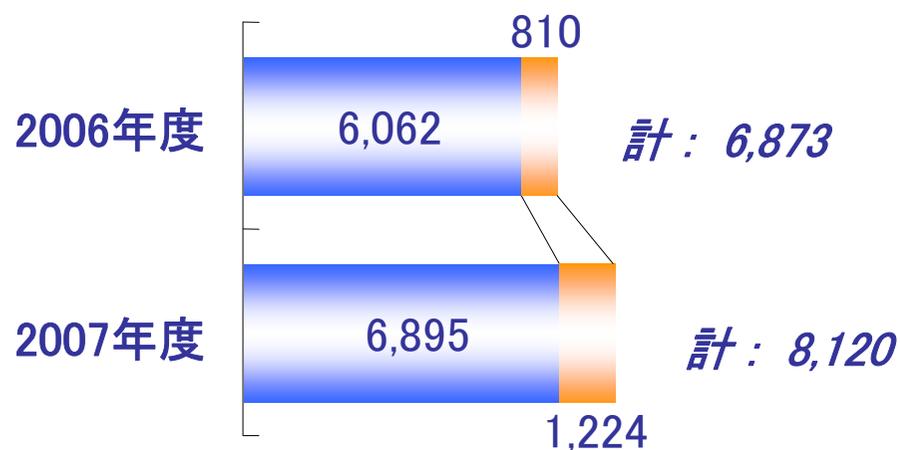
■ 外部顧客に対する売上高 ■ 内部顧客に対する売上高又は振替高

単位：百万円

### 【日本】



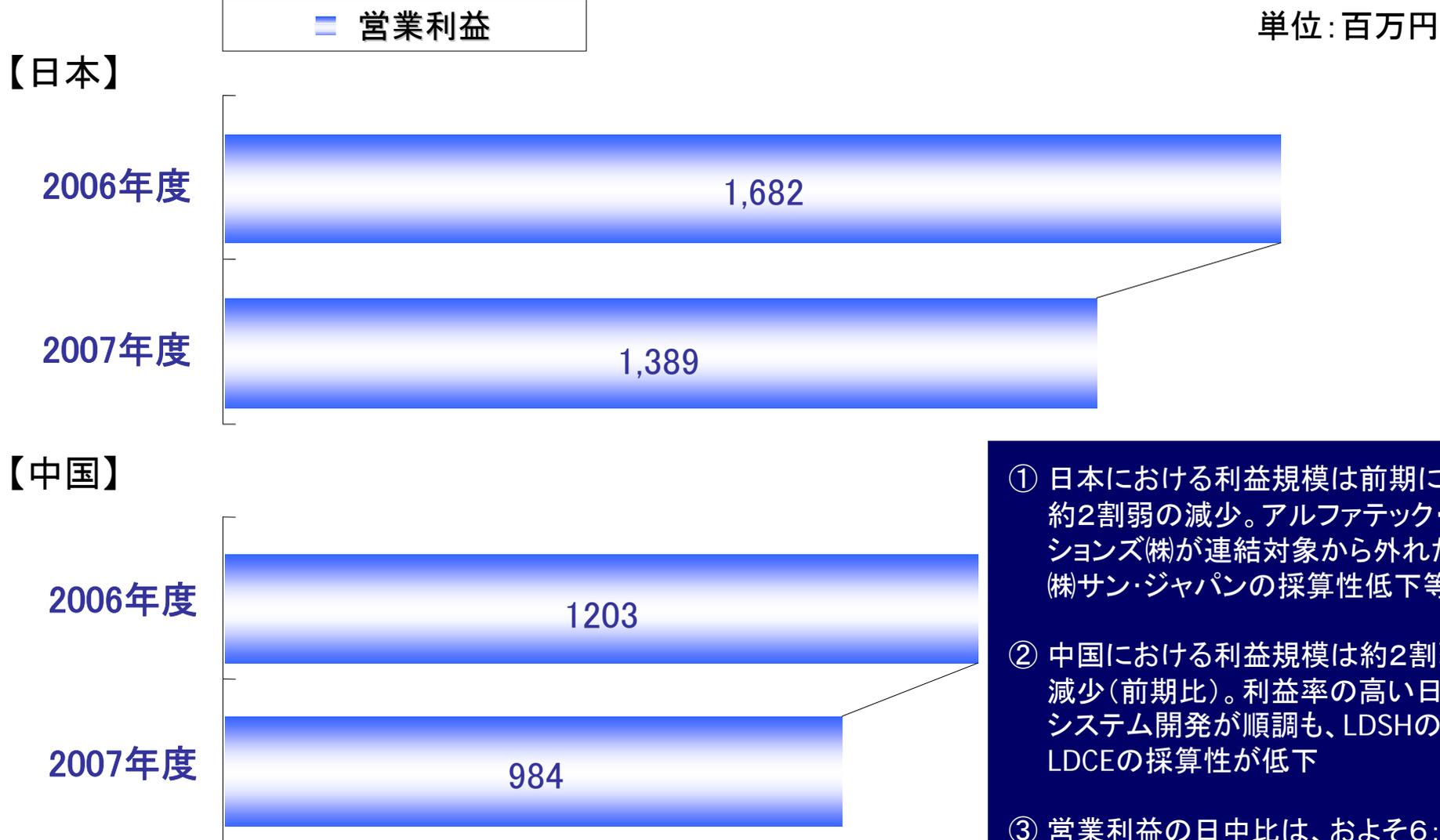
### 【中国】



- ① アルファテック・ソリューションズ(株)が連結対象から外れたこと等により、日本の売上規模が約3分の2に留まる(前期比)
- ② 中国における売上規模(外部顧客)は約1.1倍強に拡大(前期比)。従来からの日本向けのシステム開発が順調に推移。また、「その他事業」も寄与した
- ③ 売上高の日中比は、およそ7:3



## ●所在地別利益推移【連結】





## ● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2006年度		2007年度		増減		
		数	値	構成比	数		値	構成比
資産の部	流動資産	17,787		76.8%	17,964		80.6%	177
	固定資産	5,386		23.2%	4,318		19.4%	△1,068
	繰延資産	-		0.0%	-		0.0%	-
	資産合計	23,174		100.0%	22,283		100.0%	△890
負債の部	流動負債	9,445		40.8%	10,527		47.2%	1,081
	固定負債	2,323		10.0%	1,271		5.7%	△1,052
	負債合計	11,769		50.8%	11,798		52.9%	29
少数株主持分		1,667		7.2%	2,177		9.8%	510
純資産合計		11,404		49.2%	10,484		47.1%	△919
負債純資産合計		23,174		100.0%	22,283		100.0%	△890

## ● キャッシュフロー概要 【連結】



単位：百万円

	2006年度	2007年度	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	△985	901	1,887
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,536	△205	1,331
財務活動による キャッシュ・フロー	1,908	△746	△2,655
現金及び現金同等物 期末残高	4,768	4,585	△182

## ●各種指標 【連結】



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
売上高営業利益率 (%)	13.1	10.5	8.4	6.8	6.7
一株当たり当期純利益 (円)	5,911	△8,243	1,945	2,741	620
自己資本比率 (%)	69.2	58.0	35.9	42.0	37.1
R O E (%)	16.9	△12.6	12.5	14.7	3.4

※ 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しています。また、株式分割の影響は考慮しておりません。  
2004年は連結調整勘定(のれん代)の一括償却を実施したことにより、当期純損失となっています。

## 2. 企業活動概要

---



## ●2007年度における取組①

### 国内部門

#### ▶収益性の低い事業の整理とコスト圧縮

- 不採算事業の整理(EDI事業)
- 販売管理費の削減
- 株式会社ファルコンの売却

約2億円／年のコスト圧縮

約1億円／年のコスト圧縮

約0.7億円の資金回収

#### ▶構造転換

- オフショア事業の拡大に向けての構造転換
- オフショア事業の拡大に向けてのビジネスアライアンス



## ●2007年度における取組②

### 海外部門

#### ▶本業へのシナジーが低く、かつ収益性の低い事業の整理

- 福建聯迪の非連結子会社化(5月15日に役会決議、6月16日譲渡予定)
- 福建十方文化伝播有限公司(広告代理事業を中心とするコンテンツ・メディア事業を営む)の売却

#### ▶SI事業の強化

- SI事業並びに同事業営業力の強化のため、電力、石油、金融機関向けにシステムソリューションを提供する北京宝利信通科技有限公司(LDBL)を子会社化
- 大手石油関連機関向けに設備・制御システムの設計とプロジェクト・マネージメントをおこなう華深貿易(国際)有限公司(HKHS)を子会社化
- ERPを得意とし、中国に進出している三菱ケミカルホールディングスグループ各社へシステム・ソリューションを提供している(株)菱化システムと業務提携



## ●2007年度における取組③

### 海外部門

#### ▶オフショア事業拡大の準備

- 業容拡大のため、LDNSを1,000名以上の開発者を収容可能な社屋へ本社移転
- ハイエンドの人材を囲い込むために、北京に子会社聯迪恒星(北京)信息系统有限公司(LDBS)を設立

### グループ共通

- ▶ 自己株式の市場買付け実施(5月23日～7月12日/株式数10,000株/総額7億28百万円)
- ▶ 株主総会のビジュアル化、個人投資家向け説明会の開催、ホームページリニューアル等のIR強化を実施



## ●【ご参考】2007年度取得子会社について

### 北京宝利信通科技有限公司 略称:LDBL

電力会社、石油会社、金融機関向けに、外部記憶装置をコアとするシステムソリューション、電力設備管理システム等を提供しているSI事業会社であります。

EMC、VERITAS、NETAPP、QUANTUM等の有力な外部記憶装置ソリューション・ベンダーとのパートナー関係を構築しており、官公庁等の公共機能が集中する北京を中心として、多地域にわたる有力な販売ルートを利用し、高質なサービスと製品を提供しています。

また、当社グループの中国における主要SI事業会社である安徽科大恒星電子商務技術有限公司(略称:EBT)との間に大きな相互補完関係があり、これまで多数のプロジェクトにおける協業実績があります。

### 華深貿易(国際)有限公司 略称:HKHS

中国の中国石油化工股分有限公司(SINOPEC)、中国石油天然ガス股分有限公司(Petro China)、中国海洋石油総公司(CNOOC)等の大手石油関連機関及び企業向けに、設備・制御システムの設計とプロジェクトマネジメントをおこない、自社開発の制御ソフトウェアを提供するSI事業会社です。

フランスのSCHNEIDER、イギリスのROTORK、アメリカのCAMERON、EMERSON、DELTAVALVEといった、業界で国際的に知名度の高いメーカーの中国における販売代理店として、制御機器・情報システムの調達販売も行っています。

役員及び主要メンバーは、石油関連機関及び企業の出身者が多く、同業界に関する経験と知識が豊富であり、提案力、販売力に優位性を有しています。

### 3. 2008年度の業績見通し

---

---

# ●2008年度業績見通し【連結】



単位:百万円

	中 間 期		通 期	
	数 値	対前期増減率	数 値	対前期増減率
売 上 高	12,800	7.3%	27,000	4.3%
営 業 利 益	815	△9.2%	2,396	38.0%
経 常 利 益	789	△15.9%	2,379	40.0%
当 期 純 利 益	256	△50.3%	1,021	237.5%

※ 2008年度の業績見通しには、販売費及び一般管理費として「のれん」3億24百万円が含まれております。



## ◎利益配当金について

- ➡ 成長の為の内部留保を念頭に置きつつ、積極的に株主還元を行う所存
- ➡ 利益還元は、継続的かつ安定的に実施する方針

### ◎一株当り配当金の実績と予定

	2006年度実績	2007年予定	2008年予定
1株当り配当金	800 円	200 円	600 円

配当金については、連結における配当性向30%前後を目処として、定時株主総会にてご提案申し上げる方針であります。

## 4. 当期の事業展開について

---

---



**受注ルート of 拡大と高収益ビジネスへの参入を目的とした  
M & A 及びアライアンスの積極的推進**

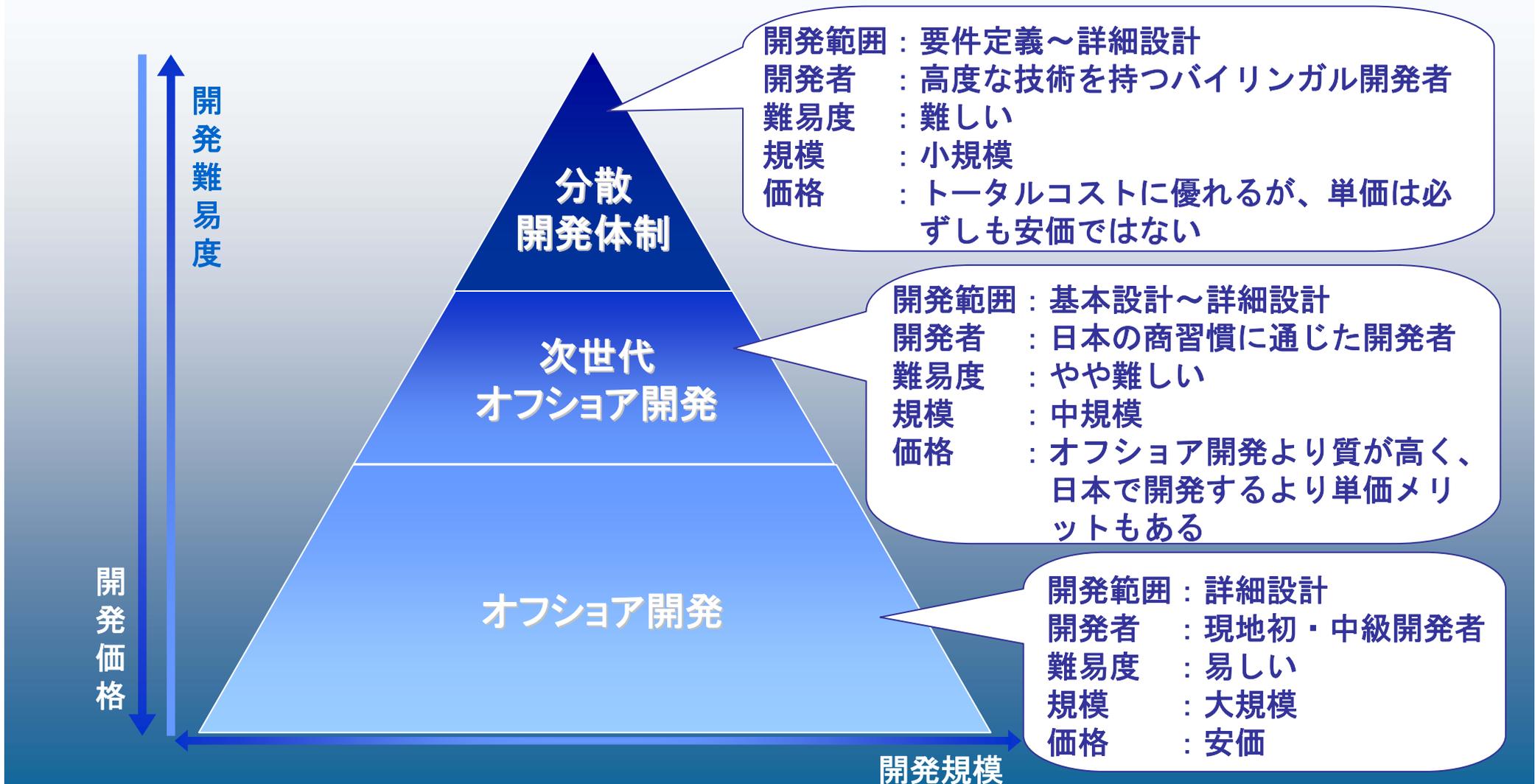
**システム開発事業におけるオフショア / 次世代オフショア  
ビジネスへの注力**

**事業カテゴリーの明確化及び事業推進体制の再構築（事業  
推進単位の設定）によるグループ経営の推進**

# ●システム開発における分散開発体制～オフショアの位置づけ



## ◎分散開発体制／次世代オフショア／オフショアのイメージ図



# ●事業推進体制の再構築(事業推進単位の設定)



## ◎事業推進単位 → 4つの事業ブロック

### ブロック1

#### 日本国内向けシステム開発事業ブロック

- ◎安定顧客の確保と個々のプロジェクトにおける収益性の向上
- ◎不採算事業からの撤退と組織統廃合による不要・間接コストの圧縮

### ブロック2

#### オフショア開発事業ブロック

- ◎中国子会社が独自に営業活動を展開し、オフショア案件を獲得
- ◎人材採用による開発力強化を進め、中国子会社の日本法人を設立

### ブロック3

#### 中国国内向けSI事業ブロック

- ◎高成長で資金回収が比較的安定しているセクタを中心に事業展開
- ◎新子会社のLDBL等を窓口とし、最終顧客から受注する体制目指す

### ブロック4

#### 成長市場向け新規事業ブロック

- ◎中国市場に特化した新規事業を展開
- ◎事業自体が収益を上げ、かつ他ブロックの顧客開拓の足がかりとする



## ● 年間経営目標達成のための諸施策

### 国内部門

- (株)菱化システム、イーピーエス(株)、(株)ブロードリーフとのアライアンス推進 → **アライアンスの推進**
- 大手SIベンダーとの連携による次世代オフショア立ち上げ → **オフショアの立上げ**
- 前期に立ち上げたSJAにおけるERP事業の積極的推進 → **高収益SI事業推進**
- 新たな事業推進単位(ブロック)の日本子会社への導入 → **事業推進単位導入**

### 海外部門

- LDBL及びHKHSの収益拡大及びグループ安定化 → **M&Aの成果獲得**
- LDNSの体制整備と東京進出による次世代オフショア立ち上げ → **オフショアの立上げ**
- コンピューター情報SI資格1級を持つEBT中心に中国SI事業注力 → **中国SI事業注力**
- 新たな事業推進単位(ブロック)の中国子会社への導入 → **事業推進単位導入**

## ●今後の見通し等の記載に関するご注意



本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。  
今後の業績につきましては、様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

# 【別紙】 数值編

---



## ●2007年度実績①前年比【連結】

単位:百万円

	2006年度		2007年度		前年比		
	数	値	構成比	数		値	構成比
売上高	35,241		100.0%	25,883		100.0%	73.4%
営業利益	2,386		6.8%	1,735		6.7%	72.7%
経常利益	2,371		6.7%	1,699		6.6%	71.7%
特別利益	670		1.9%	103		0.4%	15.5%
特別損失	356		1.0%	907		3.5%	254.8%
当期純利益	1,353		3.9%	302		1.2%	22.4%



## ●2007年度実績①前年比【単体】

単位:百万円

	2006年度		2007年度		前年比		
	数	値	構成比	数		値	構成比
営業収益	1,176		100.0%	1,973		100.0%	167.8%
営業利益	694		59.0%	1,422		72.1%	204.9%
経常利益	535		45.5%	1,267		64.2%	236.6%
特別利益	157		13.4%	4		0.3%	3.2%
特別損失	183		15.6%	71		3.6%	39.1%
当期純利益	393		33.4%	1,254		63.6%	319.0%

※ 当社は、2005年4月1日より純粋持株会社に移行いたしております。

# ●2007年度実績②予想比【連結】



単位:百万円

	期初予想値		2007年度		達成率
	数	値	構成比	数	
売上高	29,354	100.0%	25,883	100.0%	88.2%
営業利益	2,989	10.2%	1,735	6.7%	58.1%
経常利益	2,872	9.8%	1,699	6.6%	59.2%
特別利益	-	-%	103	0.4%	-%
特別損失	-	-%	907	3.5%	-%
当期純利益	1,701	5.8%	302	1.2%	17.8%

# ●2007年度実績②予想比【単体】



単位:百万円

	期初予想値		2007年度		達成率
	数	値	構成比	数	
営業収益	1,126	100.0%	1,973	100.0%	175.2%
営業利益	599	53.2%	1,422	72.1%	237.4%
経常利益	473	42.0%	1,267	64.2%	267.9%
特別利益	-	-%	4	0.3%	-%
特別損失	-	-%	71	3.6%	-%
当期純利益	393	34.9%	1,254	63.6%	319.1%

## ● 販管費実績



単位：百万円

	2006年度		2007年度		前年比
	数	値	構成比	数	
給与手当	1,728	32.2%	1,191	26.7%	68.9%
研究開発費	17	0.3%	74	1.7%	428.4%
旅費交通費	208	3.9%	185	4.2%	88.9%
その他	3,420	63.6%	3,003	67.4%	87.8%
<b>販管費合計</b>	<b>5,375</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,455</b>	<b>100.0%</b>	<b>82.9%</b>

(数値は連結)



## ● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2006年度		2007年度		増減		
		数	値	構成比	数		値	構成比
資産の部	流動資産	17,787		76.8%	17,964		80.6%	177
	固定資産	5,386		23.2%	4,318		19.4%	△1,068
	繰延資産	-		0.0%	-		0.0%	-
	資産合計	23,174		100.0%	22,283		100.0%	△890
負債の部	流動負債	9,445		40.8%	10,527		47.2%	1,081
	固定負債	2,323		10.0%	1,271		5.7%	△1,052
	負債合計	11,769		50.8%	11,798		52.9%	29
少数株主持分		1,667		7.2%	2,177		9.8%	510
純資産合計		11,404		49.2%	10,484		47.1%	△919
負債純資産合計		23,174		100.0%	22,283		100.0%	△890



## ● バランスシート概要 【単体】

単位：百万円

		2006年度		2007年度		増減
		数値	構成比	数値	構成比	
資産の部	流動資産	4,185	31.5%	3,861	29.4%	△323
	固定資産	9,119	68.6%	9,270	70.6%	150
	繰延資産	-	-%	-	-%	-
資産合計		13,304	100.0%	13,131	100.0%	△173
負債の部	流動負債	4,693	35.3%	5,297	40.3%	603
	固定負債	2,120	15.9%	1,189	9.1%	△931
	負債合計	6,814	51.2%	6,486	49.4%	△327
純資産合計		6,490	48.8%	6,645	50.6%	154
負債純資産合計		13,304	100.0%	13,131	100.0%	△173

## ● キャッシュフロー概要 【連結】



単位：百万円

	2006年度	2007年度	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	△985	901	1,887
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,536	△205	1,331
財務活動による キャッシュ・フロー	1,908	△746	△2,655
現金及び現金同等物 期末残高	4,768	4,585	△182